210401 神戸市灘区と高知県黒潮町のデータの推移について

先日来、神戸市灘区の MAX３０万に近い、緑色のかたまり状データの減衰、収束をお伝えしてきたところ、３月 29 日に急に大きなリバウンドをして MAX10 万を超えるかたまり状のデータが出てきました。そのリバウンドのデータは３月 29 日から本日４月１日になっても減衰せず幅のあるかたまり状になっています。
一方で高知県黒潮町にも、MAX2000 ほどのかたまり状のデータが出て、３月 7 日すぎにいったん減衰しましたが３月 30 日にリバウンドして MAX500 ほどの幅のある１本立ちになりました。この神戸市灘区と高知県黒潮町はデータの形やリバウンドのタイミングなどとても似ていることから同期していると考えられます。
そして高知県黒潮町では、その塊状のデータから本日４月１日に MAX50000 の大きな１本立ちが出ました。　この大きな 1 本立ちが何を意味するかはまだわかりませんが　周囲の観測点では愛媛県松前や鳥取県米子が収束してきており、大分県別府には高知県黒潮町の大きな１本立ちと良く似た MAX30000 を超える１本立ちがほぼ同期したタイミングで出現しています。
以上のことから神戸市灘区、高知県黒潮町、愛媛県松前、鳥取県米子、大分県別府などに何らかの関連した動きがみられます。しかし、それらの観測点のちょうど中央部にあたる広島、岡山には同期したようなデータは出ていません。このことは大地震の前兆は震源の近くでなく震源を中心にした周囲に起きる傾向があるという、いわゆるドーナッツ現象の可能性が考えられます。こうしたことから、その周辺の地域の方がたは十分な注意をお願いしたいと考えます。

神戸市灘区 90 日間データ（３月 26 日まで）

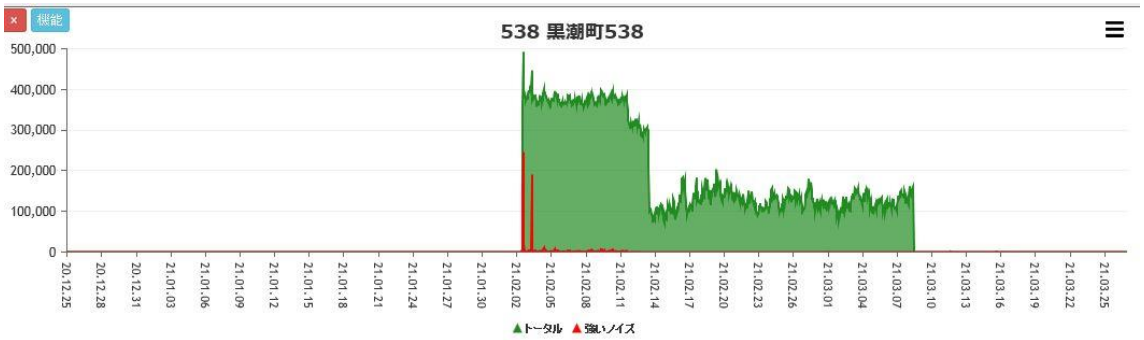
神戸市灘区 90 日間データ（３月 30 日まで）

神戸市灘区 30 日間データ

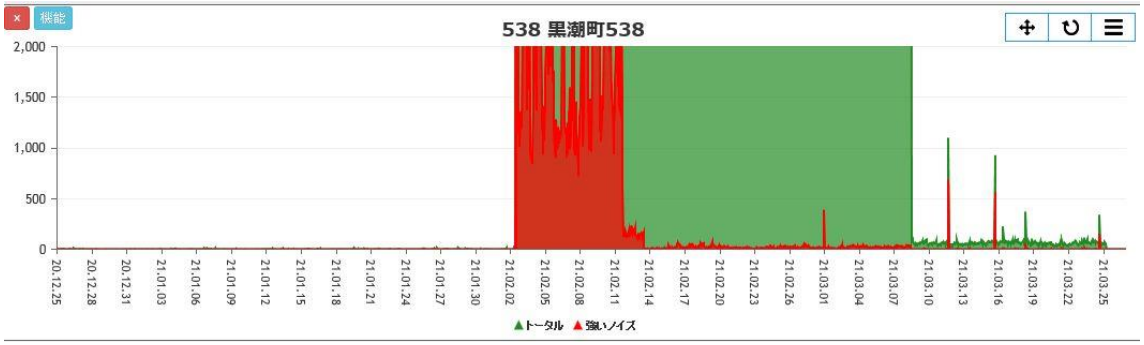
神戸市灘区 15 日間データ

神戸市灘区 15 日間データ（拡大）

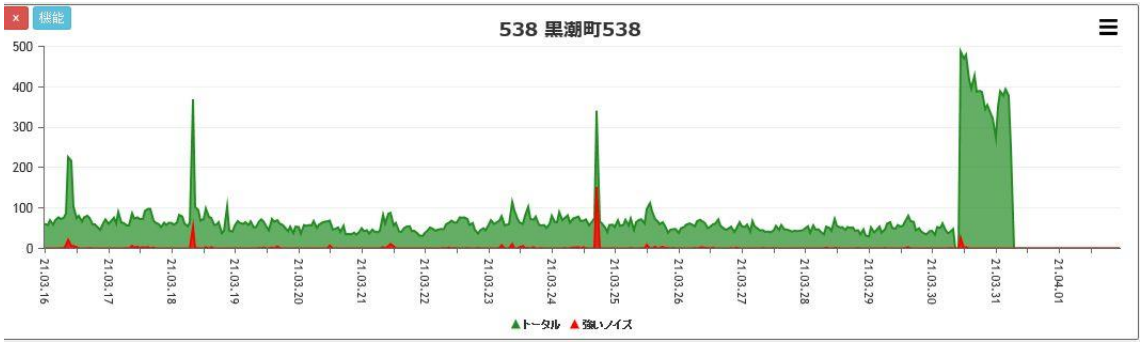
高知県黒潮町 90 日間データ（3 月 26 日まで）



高知県黒潮町 90 日間データ（3 月 26 日まで）



高知県黒潮町 15 日間データ（3 月 31 日まで）

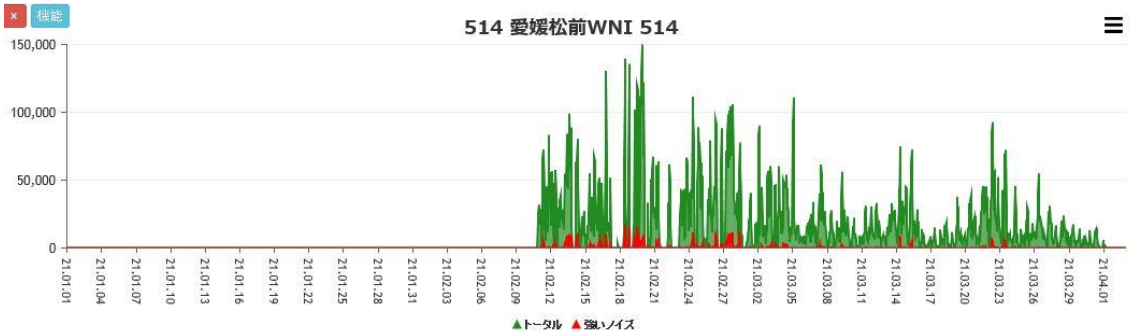


高知県黒潮町　15 日間データ　大きな 1 本立ちが出現

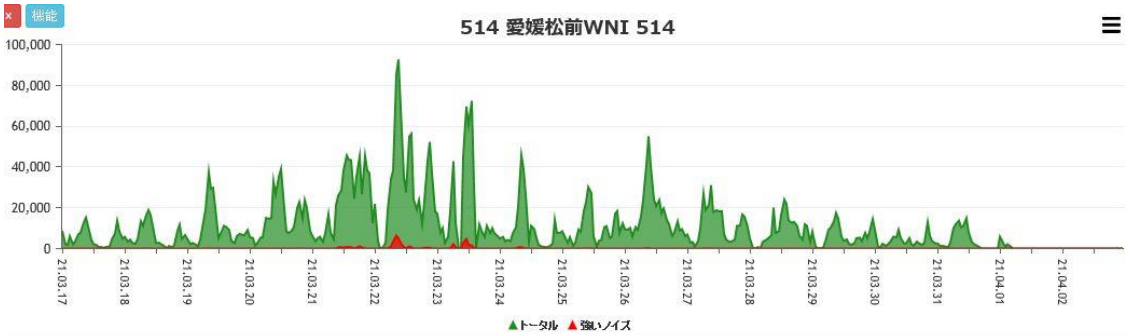
高知県黒潮町　15 日間データ（拡大）

その他周辺のデータ

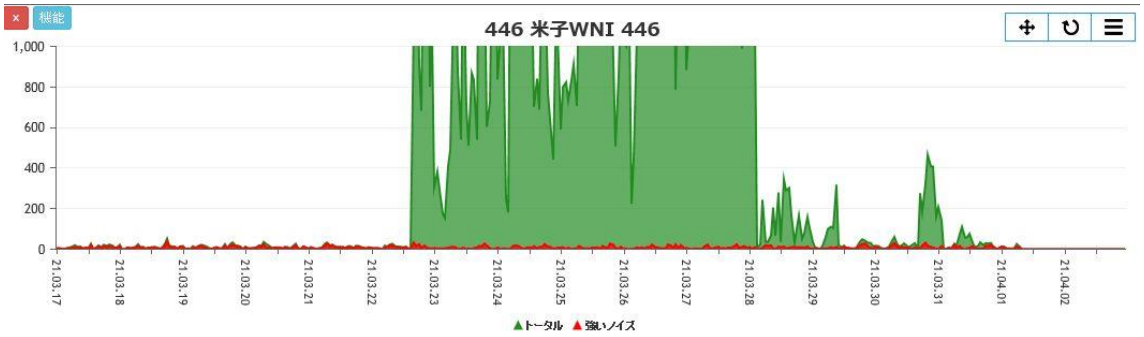
愛媛県松前　90 日間データ



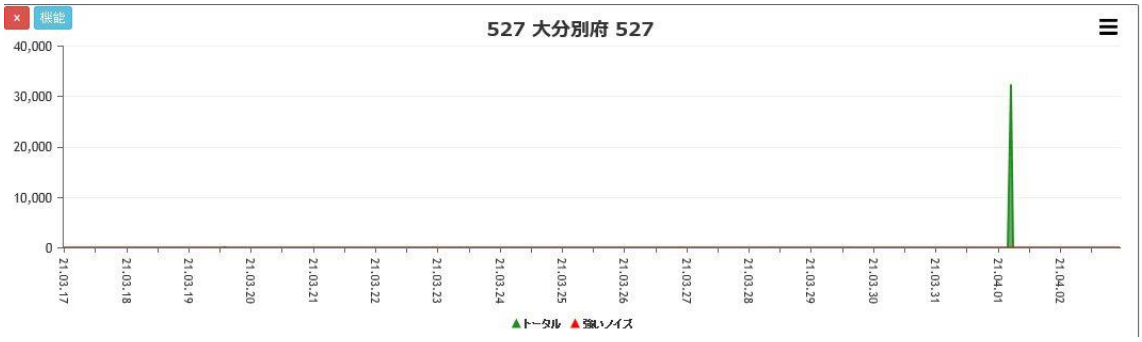
愛媛県松前　15 日間データ　きれいな収束が見られる



鳥取県米子 15 日間データ　収束が見られる

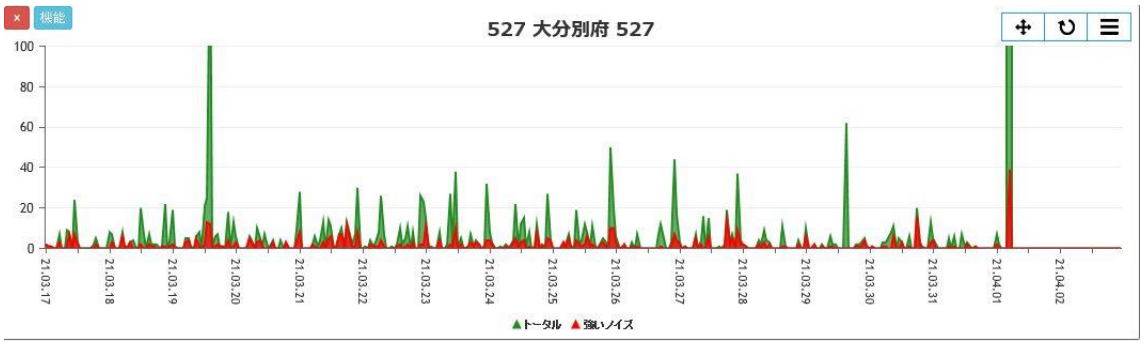


大分県別府のデータと高知県黒潮町のデータの比較



高知県黒潮町

大分県別府市



高知県黒潮町